議会広報

いえもん

村政を問う（一般質問）　P２～P10
議決の結果　……　P11
研修報告　……　P15
私たちの未来　……　P17

No.168
令和２年３月１日

1,100種のハイビスカスが見ごろ（ハイビスカス園）

村政を問う！

令和元年12月 第８回定例会

一般質問者 ８人

虻江　　修　・・・・・Ｐ３

１．村議会議員定数の見直しする考えは

亀里　敏郎　・・・・・Ｐ４

１．魚類養殖場背後地の一角に、トイレの設置はできないか

島袋　義範　・・・・・Ｐ５

１．聖苑休憩室及び火葬炉の改造はできないか

並里　晴男　・・・・・Ｐ６

１．障がい者（身体・知的・精神）向けグループホーム事業の取り組みは

内間　広樹　・・・・・Ｐ７

１．公営企業課船舶事業における船員確保とその他について

内田　竹保　・・・・・Ｐ８

１．伊江村農村環境改善センター前に顕彰碑として建立された薩摩新橋への溜水は

２．伊江村内のバス停留所を整備できないか

名嘉　　實　・・・・・Ｐ９

１．伊江島ミサイル配備候補という沖縄タイムスの報道について

２．介護保険の総合事業の一つ「通所型サービスＡ型」事業に関して

渡久地 政雄　・・・・　P10

１．太平洋戦争を終結に導いた緑十字機のモニュメント建立の必要性は

村議会議員定数等を見直しする考えは

村長／慎重を期すべきものであり、調査研究を行っていく。

蛇江 修 議員

問 平成11年地方分権一括法、また平成23年地方自治法改正により自治体自らが条例により議員定数を定めることとされ、本村においては平成16年6月25日付で議員定数を14名から10名に改正。しかしながら改正当時の村人口5324人から人口流出に歯止めがかからず、平成31年3月末では4、547人と約800人も減少。このような現状において議員定数が適正なのか疑問を持たざるを得ない。村民の中には「区長がいれば十分。村に議員はいらない！」との辛辣な声も聞こえてくる。村当局として議員定数、議員報酬の見直し、村民の民意の確認、また議員のなり手不足を解消するために住民の関心をどう高めて政治参加を促す方策を検討する考えはあるか。

答 **村長** 平成23年8月から議員定数の上限そのものが撤廃され、各自治体が条例で定める仕組みへと変わった。地方分権改革や地方主権改革の推進による地方自治体を取り巻く環境が大きく変化する中で、議員改革や活性化の取り組みとともに、定数・報酬等の議論する動きが活発化してきている。「議員定数、議員報酬の見直し」は議会の根幹に触れる重要事項であることから慎重を期すべきものであり、民意の確認については執行部のみで判断するのではないものと思慮される。また議員のなり手不足は全国的に深刻化しており、本村も例外ではない。議員の待遇の改善等も含め、連携を図りながら先進事例等の調査研究を行い、村民が行政・議会への関心を高められるよう取り組んでいきたい。

つぶやき

今回の一般質問については非常に勇気がいり、自ら議員定数について、しっかりと議論をしたいという思いからと敬意を表されたが、予算裁量権を持つ首長の英断を期待したのだが、、、。

数値で見る県内市町村議会の姿

平成30年11月１日現在

区分	総人口	議員数	議員１人当人口	伊江村割合	議員報酬
県計	1,433,566	639	2,243	19.0%	(平)264,373
市部計	1,110,193	285	3,895	10.9%	(平)409,636
郡部計	323,373	354	913	46.6%	(平)211,110
国頭郡	64,496	107	603	70.7%	(平)215,444
国頭村	4,908	10	491	86.8%	203,000
大宜味村	3,060	10	306	139.2%	203,000
東村	1,720	8	215	198.1%	201,000
今帰仁村	9,531	11	866	49.2%	204,000
本部町	13,536	14	967	44.1%	250,000
恩納村	10,652	16	666	64.0%	210,000
宜野座村	5,597	12	466	91.3%	210,000
金武町	11,232	16	702	60.7%	255,200
伊江村	4,260	10	426		202,800
伊平屋村	1,238	8	155	275.3%	174,300
伊是名村	1,517	10	152	280.8%	205,000
北部11町村計	67,251	12	538	79.2%	(平)210,755
中部６町村計	151,607	103	1,472	28.9%	(平)239,833
南部10町村計	97,480	98	995	42.8%	(平)192,500
先島３町村計	7,035	28	251	169.6%	(平)217,000

資料)沖縄県町村議会議長会調製(抜粋)注1 人口は平成27年10月１日現在の国勢調査による確定値

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をごらん下さい。

魚類養殖場背後地に、トイレの設置はできないか

村長／必要性を感じており検討していく。

亀里 敏郎 議員

問 本村は、民家宿泊体験事業の先進地として、目覚ましい伸展をしている。平成30年の実績で4万5、497人で、本村の経済振興に多大な貢献があることは、衆目の一致するところと考えている。民泊の子供たちに、伊江島で体験したいことを聞くと、「白い砂浜を裸足で歩く、美しい海で泳ぐことだ」と言っている。民家の大方が、伊江ビーチ、魚類養殖場の砂浜への案内が定着している。裸足での砂浜歩きは、伊江ビーチとは異なった静穏な環境の下で歩ける、魚類養殖場の砂浜が子供たちの人気の的となっていて、推測ではあるが、年間1万人以上が砂浜の感触を快適に体験できると喜んでいる。

しかし養殖場にトイレがない。民家、一般社団法人伊江島観光協会、株式会社こころ等から、トイレを設置できないかとの強い要望がある。私も民家として強く望むが、設置できないか。

答 **村長** 民家宿泊事業は、平成23年度から平成30年度まで8年連続で年間4万人を超え、現時点で、令和元年度においても4万4千人の受入れが見込まれている。民泊事業は、村の観光入域客数の1／3を占める受入実績が示すとおり、地域経済の振興において欠かすことのできない観光産業である。

県外からの修学旅行の生徒たちにとっては、沖縄での一番の魅力は青い海、白い砂浜での体験である。伊江ビーチをはじめ魚類養殖場背後地の砂浜など魅力ある砂浜が多くあり、自然に触れ楽しまれているものと認識をしている。

村では、伊江ビーチを観光用ビーチと位置づけ、施設整備や5月から11月までの期間は監視員を配置するなど、安全で快適な施設管理を行っている。しかし、青少年旅行村の利用者が年々減少傾向にあることから、今年度に青少年旅行村リニューアル基本構想を策定し、予てから課題となっている遊泳区域などの安全性や機能性の向上について検討をしているところである。

魚類養殖場背後地へのトイレの設置については、多くの方が砂浜を楽しまれている現状は十分に承知をしている。養殖場施設内に設置することは、水産施設の使用目的に応じた必要性が求められることから、今後、伊江漁協が計画している「釣り堀施設」や「スジアオノリ養殖施設」の整備計画とあわせてトイレの設置についても検討していく。

きれいな砂浜を歩く観光客

聖苑待合室及び火葬炉の改造はできないか。

村長／年度内に待合室の改修を実施する。

島袋 義範 議員

問　村立聖苑においては告別式を終え収骨までの間、約2時間～3時間身内の方々は待合室で待機することになる。畳間には手すりも設置されているが年配の方々や足腰の悪い方々が昇り降りに大変苦労されている。また長時間畳間に座っていて腰痛等で苦痛を感じておられる方も多いと思う。そこで畳間を土間に改造し「テーブルイス式」にすることはできないか。

答　**村長**　聖苑は平成8年3月に完成し、今年で建設から23年余りが経過している。聖苑の待合所は10畳の畳間2室と入り口の一角にテーブル席があるが長時間畳間に座ることに苦痛を感じているとの声があると理解している。そこで10畳の畳間1室を土間コンクリートビニール張りに改修し「テーブルイス式」にしたいと考えている。

問　火葬炉について、現在は1m80㎝の棺しか対応できないと伺っている。近年、長身や体格の大きい方もいるので一ヶ所の炉は2mでも対応できる炉に改造することはできないか。

聖苑待合室（令和2年3月までに改修予定）

答　**金城建設課長**　火葬炉については現在の棺の大きさは、小が幅0・45m、高さ0・42m、長さ1・53m、大が幅0・52m、高さ0・42m、長さ1・83mの2種類あるが、近年大柄な方もおられるので今回炉を改修するのではなく、現在の火葬炉で対応できる最大の幅0・6m、高さ0・5m、長さ1・9mの棺を作り現在の2種類から3種類に増やして対応したいと考えている。

問　待合室の改造及び現在より長い棺の製作が早めに実現できるよう求める。待合室の改造とともにご婦人の方々からの要望として、待合室にベビーベットを設置してもらいたい。さらに告別式の焼香台の前にちょっとした手さげバックを置く棚も作ってほしいとのこと。今回の待合室の改造と一緒に改善していただきたい。

答　**金城建設課長**　待合室の改修計画は10畳の畳間1室を土間にしてテーブル7脚、イス44脚を配置する。要望のあるベビーベットと焼香台の前の棚についても、今回対応していく。火葬炉については、これまで大・小2種類の棺で対応してきた。体格の大きな方の火葬に対して、ご遺族の方々にご迷惑をお掛けし大変申し訳なく思っている。改めて火葬炉の有効寸法を計測したところ、大きな棺も対応できることがわかり、幅0・6m、高さ0・5m、長さ1・9mの棺を作ることになった。これまでの2種類から3種類の棺を業者に製作させ対応できることになり改造の必要はなくなった。

聖苑の祭壇（香炉）

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をごらん下さい。

障がい者（身体・知的・精神）向けグループホーム事業の取り組みは

村長／必要性を感じ、調査し取り組む。

並里 晴男 議員

問 障がい者の自立支援として村内に「ちむぐくる事業所」、「たんぽぽ作業所」、社協では地域活動支援センターが開設し、障がい者に創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流促進などを図る目的として運営され、障がい者の福祉の環境も充実している。夕方から翌朝にかけて、地域で暮らすための訓練と、共同生活の場として夜間対応型のグループホームは、重要な政策だと考える。障がいを抱えた皆さんが、選択肢を持って生まれ育った島でも生活できるよう、グループホームを設立する考えはないか。

答 **村長** グループホームは、障がい者総合支援法に規定され、費用負担は介護及び訓練等給付費として、おおむね1割を利用者が事業所へ支払い、残りの費用負担を国・県・村が担い国保連合会を通して、事業所へ給付される仕組みで、家賃・食事代・光熱費が別途発生する。

本村出身者の利用状況は村外の施設5事業所において、10名の方がグループホームを利用している。

問 村内に障がい者の方が何人ほどいて、村内の共同作業所を利用されている人数は。それ以外の方々は、どのような環境で伊江村で生活されているのか。

答 **亀里福祉課長** 平成29年の12月から平成30年の1月に実施したアンケート調査の対象となる障がい者手帳を保有している方、18歳以上で342人、18歳未満の方で13人。「たんぽぽ作業所」就労型B型は、利用者17人。「ちむぐくる事業所」の就労継続支援B型で利用者10人。それ以外の利用者として、村内で社協の居宅介護を利用されている方が3人。村外の障がい者施設を16人の方が利用されている。

問 伊江村らしいグループホームができることによって、村外にも大きな注目を浴びるような事業になると思う。今後、検討してその事業所の運営が早めにできるよう希望する。

答 **村長** グループホームの設置については、伊江村においても施設の必要性は強く感じている。障害のある方も、ない方も、生まれ育ったこの島でお互い共生できる社会をつくるためのひとつの施設として、グループホームは必要だという認識である。今後いろんな角度から調査し、早目の設置ができるように取り組んでいきたい。

グループホームとは、障害のある人が共同生活を行う小規模の住居のこと。

公営企業課船舶事業における船員確保とその他について

村長／前向きに取り組む。

内間 広樹 議員

問　船舶運航は、本村において重要な交通手段で、村民生活基盤の根幹をなすところは周知のとおりであり、平素より安全運航に努めていることに対し敬意を表するところである。フェリー運航には、国家資格である「海技士」有資格者の配置が運航に義務づけられているが、全国的に有資格者が減少傾向にあり、船員確保が現在でも困難な中、今後とも非常に厳しい状況になることが予想される。村当局においても現状を認識のことは思うが、現在の状況及び今後の取り組みとその他について伺う。

①基本配置人数（甲板員、機関員）と現行配置人数は

②月間の勤務日数及び1日の勤務時間は

③定年退職者が年次的に発生する中、これまで船員確保にどう取り組んできたか。今後、どう取り組むか。

④近隣離島臨時職員（船員）伊是名村、伊平屋村との賃金比較は、また、村外採用臨時職員の住居手当等の有無（伊是名村、伊平屋村）との比較はどうか

⑤無資格者の資格取得には、相当数の時間と費用を要すると聞くが、資格の特異性を考慮し、費用個人負担の軽減を図り船員育成すべき時期にきているのではないか。

⑥労働環境改善として、特殊勤務手当の見直しが必要ではないか。

答　**村長**　❶伊江村フェリーで運航に必要な海技士の資格は、基本的人員として有資格者が甲板部2人、機関部に2人を乗船することが法定で定められており、その他の乗組員6人と合わせて10人が基本配置人数である。しかし、10人では職員に休暇を付与することができないため、その他の3人の船員を配置し、1隻当たりの船員数を13人としている。現行配置人数はフェリー「いえしま」甲板員8人、うち臨時船員1人、機関員4人、臨時船員1人で計12人。フェリー「ぐすく」甲板員8人、うち臨時船員1人、機関員5人、臨時船員1人で計13人で、両船合計で25人が在籍をしている。

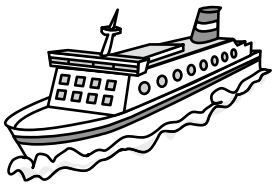
❷月間の勤務日数は、船員平均で20日で、1日の勤務時間は、平常4航海運航時に10・5時間、夏季運航時は11時間となっている。

❸特に機関員の確保が急務であると認識し、沖縄総合事務局の船員募集を介して、全国へ照会したが、全国的な船員不足のなか、募集はなかった。伊江村ホームページでの募集にも応募がなく、船員や事務職員による直接の声かけが特に有効で、そこで多くの船員を採用しており、その中で資格を取得し本採用となった船員がほとんどである。資格所持者の確保が厳しい中、退職船員の再雇用を行い、資格所持船員の確保も行っているところである。

❹臨時職員の日額は、伊江村で7,500円、伊是名村9,362円、伊平屋村8,480円。住居手当は、いずれの村も支給していない。確かに3村の中では低い賃金となっているが、令和2年度から施行される会計年度臨時的任用制度により、本村臨時船員の待遇も向上するものと考える。

❺資格取得のためには県外で研修、試験を受けるようになっており、その際には、職員に対して職専免により資格取得の支援を行っていた。今後は、役場内における他職種も含め、助成や支援のあり方を慎重に検討し、船員育成につなげていきたいと考えている。

❻本村航路は、平常4航海、夏季運航5航海、臨時便、チャーター便と年間を通してフル稼働している県内でも有数の航路である。特殊勤務手当の見直しについては、労働環境改善の方策のひとつとして総合的な見直しの中で検討をしていきたい。



※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をごらん下さい。

改善センター前に顕彰碑として建立された薩摩新橋への溜水は

村長／現状で管理していく。

内田 竹保 議員

問 伊江村民俗芸能保存会結成40周年記念事業で顕彰碑として建立されてある「様は」は、現在東の3行政区で継承されている。「様は」の歌詞の下句に薩摩新橋唐金擬宝珠　水に浮かいてさくら島とあり、大意は薩摩新橋の唐金擬宝珠が水面に写っている、その景観は桜島と調和して美しいとの解説が2007年に発刊された記録本に記されている。しかし今回建立されている薩摩新橋の橋の下は石がつめられていて、水に浮かぶ光景は見られない。今後、民俗保存会の意見のもと、溜水できるように再整備をして、歌詞の意味をより分かりやすくする事はでないか、又これまで溜水の話はなかったのか。

答 **教育長**　改善センター前の顕彰碑等の建立については、民俗保存会結成40周年記念事業で平成25年に「学びの橋」として薩摩新橋を整備しているが、枯山水については、約20年前に施工されたもので、特に接点はない。歌のイメージに近づけるため、橋の下は窪みがあるほうがいいということで、枯山水を堀に見立てている。当時も水を溜めるべきか議論をしているが、安全面や衛生面を配慮して水を張らなかった経緯がある。

保存会では「理想は水はあった方がいいと思う。しかし安全面や管理面を考慮すると枯山水にするのもやむを得ない」とのことだった。

現在再整備は考えていない。これまで通りの状態で管理していきたい。

伊江村内のバス停留所を整備できないか

村長／協議・調整を図り、整備に向けて取り組む。

問 現在村内には29ヶ所の停留所があり、多い日で一般客40名が利用している。また真謝や西崎、ナガラ地区の小中学生55名が登下校に利用している。しかし屋根付きの停留所が村内で4ヶ所しかなく、利用する村民が夏の炎天下や雨天時、冬の寒さの中でバスを待つ姿が見受けられる。今後停留所整備はできないか。予算の確保、地権者との合意が必要と考えられるが、県の補助事業等を活用して整備ができないか。

答 **村長**　村においては、交通弱者の移動を支援する路線バスの確保維持は必要不可欠となっており、沖縄県生活バス路線確保対策事業で運行支援を行っているところである。

建立されている薩摩新橋

沖縄県補助事業で7ヶ所には屋根付き停留所が整備されているが、殆どが屋根のない停留所で、夏の強烈な日差しや悪天候時には、利用者の安全かつ円滑な乗降と快適で利便性の高いバス停留所を整備することは大変重要なことと考えている。

生活バス路線の運行支援助成事業であり、施設整備事業等は対象外となることから、沖縄振興特別推進交付金事業等を検討していきたい。

今後は、バス運行事業者と連携を密にして、整備箇所等の意向確認を行うとともに、用地関係者及び道路管理者の沖縄県と協議調整を図りながら、停留所整備に向けて取り組んでいきたい。

伊江島ミサイル配備候補という沖縄タイムスの報道について

村長／関係機関を通して情報収集していく。

問　2019年10月13日（日）付沖縄タイムスは、米国防総省がこれまで、インド太平洋地域における地上発射型の中距離ミサイル（射程500～3、000㎞）の配備先候補地として検討したグアムやオーストラリア、ハワイ、日本、フィリピン、韓国など約20ヵ所を検討した。日本では伊江島補助飛行場を含む数ヵ所が検討されたが、同飛行場では海兵隊がすでに高機動ロケット砲システム（HIMARS〔ハイマース〕）訓練を展開しているほか、住民の反対が高まった場合の沖縄本島での訓練への影響など懸念が示されたという。として一方で、2面では、消去法で沖縄浮上もとの見出しをつけ、「オーストラリアもグアムも駄目となった場合、消去法で沖縄になる可能性は皆無ではない」とした。

HIMARS（ハイマース）とは、高機動ロケット砲システムで、米軍の空挺部隊と海兵隊、軽歩兵師団に配備されており、C-130ハーキュリーズ／C-130Jスーパーハーキュリーズでも輸送可能とされている。

①伊江島でのHIMARS（ハイマース）の訓練は村に通知はあったのかどうか。
②どのような訓練をしたのか。
③中距離ミサイル配備について。
消去法で沖縄浮上も、「日本政府拒否反応ない」とされているが、沖縄県内でも消去法で配備先が決められた場合、伊江島への配備も考えられるか。

答　**村長**　先の報道では「現状は開発段階で配備計画の具体化には至っていない」とする一方、「オーストラリアもグアムも駄目となった場合、消去法で沖縄となる可能性は皆無ではない」との米側の認識が示されているところである。今後も、沖縄防衛局を通して情報収集と事実確認に努めてまいりたい。

介護保険の総合事業の一つ「通所型サービスA型」事業に関して

村長／住民を見極め、支援していく。

問　プロテク整体院は、介護度がこれ以上進行しないことを目指して、仕事に励んでいるが経営は非常に厳しい状態が続いている。
①村は総合事業の一つである通所型サービスAについて、どのような位置付けをしているのか。
②プロテク整体院は厳しい経営が続いているようだが、村からの支援策は考えているのか。

答　**村長**　❶被保険者が要介護認定を受けていなくても、要件を満たせば利用できることから、介護予防面の効果はこれまでより高いと考えている。また、心身の機能低下に起因する閉じこもりがちな高齢者の方をサービス利用へつなげ、外出する機会を確保することによって、地域の方々との接点、交流が生まれるなどの効果も確認をしている。
❷現在、合同会社ｉｅ（イル）では、通所型サービスA、リハビリ特化型サービスのみ行っているが、今後、通所型サービスC、短期集中型リハビリや訪問リハビリ等、事業メニューの拡大を検討しているとのことである。村としても住民のニーズ等を見極めながら、支援してまいりたい。

名嘉實 議員

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をごらん下さい。

太平洋戦争を終結に導いた緑十字機のモニュメント建立の必要性は

村長／平和学習の教材として認識している。

渡久地 政雄 議員

問 昭和20年8月10日にマッカーサー連合最高司令官の命令により、千葉県木更津市から伊江島まで降伏軍使を乗せた終戦連絡機「平和の白い鳩」と呼ばれた緑十字機が8月19日、伊江島補助飛行場に着陸した。この事実は今日まで村民をはじめ、国民にも知られていないことである。この偉業を称え新たな平和学習の場として伊江島補助飛行場内に緑十字機のモニュメントを建立し、活用すべきだと思うが村長の考えは。

答 **村長** 降伏軍使を乗せた緑十字機が伊江島飛行場を中継地として、不時着等幾多の困難を乗り越え東京湾ミズーリ号での降伏文書調印を果し、太平洋戦争を終結に導いた歴史的偉業を知り、今日私達が平穏な日々を享受できていることを尊く思い、平和のありがたさを強く感じているものである。緑十字機モニュメントの建立については、史実を多くの人や次世代に伝える手段や、平和学習の教材として貴重な事業だと認識している。

（降伏軍使派遣推移）

8月 15 日 終戦
16 日 マッカーサー司令官から降伏軍使派遣命令届く
18 日 ソ連軍、千島列島への攻撃開始
19 日 降伏軍使（緑十字機）、木更津発（7 時 18 分）→伊江島着（12 時 40 分）
米軍機でマニラに移動して会議
20 日 会議を終えて伊江島に戻る（17 時 45 分）
緑十字機一番機、伊江島離陸（18 時 40 分→静岡県磐田市鮫島海岸不時着（23 時 55 分）
21 日 降伏軍使を乗せた陸軍機、浜松発（7 時）→調布飛行場着（8 時）
マニラ会議の報告を受けた海軍は、直ちに厚木航空隊の反乱を鎮圧
28 日 進駐軍先遣隊、厚木着　→　無血進駐
30 日 マッカーサー司令官厚木着
9月 2 日 降伏文書調印式（太平洋戦争正式に終わる）→　ソ連軍攻撃を停止する

（岡部英一　書籍より抜粋）

伊江島へ着陸した緑十字機
（昭和 20 年 8 月 19 日）

緑十字機不時着を語り継ぐ会来村
（令和 2 年 1 月 27 日）

語り継ぐ会、伊江島補助飛行場に着陸

議決の結果

令和元年第８回定例会

（開会日：令和元年12月12日～12月13日）

議案番号	件名	議決結果
議案第60号	離島ICT教育実証事業備品購入の契約について	原案可決（全会一致）
議案第61号	伊江村小学校ICT機能強化事業備品購入の契約について	〃
議案第62号	令和元年度伊江村一般会計補正予算（第５号）	〃
議案第63号	令和元年度伊江村診療所特別会計補正予算（第３号）	〃
議案第64号	令和元年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	〃
議案第65号	令和元年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算（第３号）	〃
議案第66号	伊江村固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
議案第67号	伊江村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	〃
議案第68号	伊江村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
議案第69号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
議案第70号	伊江村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
※議案第71号	伊江村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	〃
議案第72号	伊江村職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	〃
議案第73号	伊江村企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
意見書第３号	居宅介護支援事業所の管理者の資格要件に係る経過措置期間延長に関する意見書	〃
発議第１号	飲酒運転及び飲酒に伴う事件・事故の根絶に関する宣言決議（P12参しょう）	〃

※ 会計年度任用職員とは、一会計年度（４月１日から翌年３月31日まで）内の任期で任用される非常勤の地方公務員です。

令和２年第１回臨時会

（開会日：令和２年１月27日）

議案番号	件名	議決結果
議案第１号	へき地診療所等設備整備事業医療器材購入の契約について	原案可決（全会一致）
議案第２号	令和元年度伊江村一般会計補正予算（第６号）	〃

令和２年第２回臨時会

（開会日：令和２年２月３日）

議案番号	件名	議決結果
意見書第１号	在沖米軍によるパラシュート降下訓練中における提供施設区域外への物資落下事故に対する意見書（P13参しょう）	原案可決（全会一致）
決議第１号	在沖米軍によるパラシュート降下訓練中における提供施設区域外への物資落下事故に対する抗議決議	〃

伊江村議会令和元年第8回（12月）定例会において、
下記のとおり決議しました。飲酒運転はもちろん、飲酒に
伴う事件事故がなく、家族の幸せと平穏な生活を心から願います。

飲酒運転及び飲酒に伴う事件・事故の根絶を誓う

発議第１号

飲酒運転及び飲酒に伴う事件・事故の根絶に関する宣言決議

事件事故のない、安全で安心な社会の実現は、村民・県民の共通の願いである。

しかしながら、県下においては、飲酒に起因する事件・事故等、さまざまな問題が生じている。

特に、本年、県下では路上寝により3名の方が車両に轢過され死亡するなど、大きな社会問題となっている。

また、多量飲酒による泥酔の結果、過失転倒による重傷事故、財布などの盗難や事件に巻き込まれるなどの被害が発生している。本村でも、泥酔者や路上寝、飲酒絡みの事件・事故が増加傾向にあり、この厳しい現状を早急に改善する必要がある。

飲酒運転については、飲酒運転が重大事故につながる大変悪質・危険で許されない行為であることを、あらゆる機会を通じて啓発しているものの、飲酒運転で検挙される者は、ここ数年逆に増加している。

よって、伊江村議会は、飲酒運転及び飲酒に伴う事件・事故の根絶を決意し、家族の幸せと安全で安心して暮らせる社会、更には、青少年の健全育成を確立するため、本村議会をはじめ関係機関・団体、家庭において「多量飲酒を慎み、適正飲酒を心がける」「酒を飲んだら運転しない」「運転するなら酒を飲まない」「運転する人には酒を勧めない」「ハンドルキーパー等の徹底」などの運動を強力に実践することを誓い、ここに宣言する。

以上、決議する。

令和元年１２月１３日

伊　江　村　議　会

飲酒運転しないぜったいダメ！！

提供施設区域外への物資落下事故に対し厳重に抗議！！

意見書第１号

在沖米軍によるパラシュート降下訓練中における提供施設区域外への
物資落下事故に対する意見書

令和２年１月２９日午前１１時４０分頃、在沖米軍によるパラシュート降下訓練中において、米軍普天間基地所属の MV-22 オスプレイと思われる機体から伊江島補助飛行場訓練場のフェンスに隣接する提供施設区域外の耕作地にプラスチック製の物資が落下した。

落下地点は、農繁期であるさとうきびの収穫作業をはじめ、葉たばこや家畜の牧草地などがあり農作業に従事する方や車両が往来する場所で、約３００m離れた場所には民家等がある。パラシュートによる物資落下事故は極めて危険性が高く、人命を失う大惨事につながることも危惧され、住民に与えた不安は計り知れない。

事故当日は北西からの強風で、これまで幾度となく強風時には訓練をしないよう強く求めてきたが一向に改善されていない。令和元年 10 月 18 日には MC-130J 特殊作戦機からの部品落下事故が発生し、10 月 29 日にも米兵 2 人が強風に煽られ、提供施設区域外である県所有の伊江島空港内に落下し、翌日にも同事故が発生した。近年米軍による事故が頻繁に繰り返えされることは極めて遺憾であり看過できない事態となっている。

伊江村議会は、相次ぐパラシュート落下事故及び在沖米軍による事件・事故に対し、再発防止の要請を行い、米軍の安全管理体制のあり方を厳しく指摘してきたが、米軍の訓練に対する認識の甘さと米兵の安全教育、徹底指導がなされていないことを証明するものであり強い憤りを禁じ得ない。

よって、伊江村議会は村民の尊い生命と財産、安全安心な生活を守る立場から提供施設区域外へのパラシュート物資落下事故に厳重に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

１．事故原因を徹底究明し、その結果を速やかに公表すること。
２．物資投下訓練を実施しないこと。
３．伊江島補助飛行場における訓練計画（時間）の事前開示をすること。
４．悪天候時の訓練は中止すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和２年２月３日
沖縄県伊江村議会

（あて先）
内閣総理大臣　外務大臣　防衛大臣　内閣官房長官　沖縄及び北方対策担当大臣
外務省特命全権大使（沖縄担当）　沖縄防衛局長

※同様に抗議決議を米軍関係機関へ提出しました。

外務省沖縄事務所にて意見書を受け渡す

沖縄防衛局にて意見書を読み上げる渡久地議長

議会を傍聴しました。

第８回定例会（令和元年 12 月 12 日・13 日）
西小学校６年生（28 名）、婦人会（13 名）

西小学校６年生

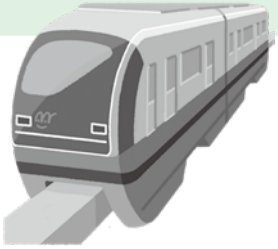
伊江村婦人会

西小学校６年生の感想

西小学校６年生

- 議会に参加している人がみんな真剣で、伊江島を発展させたいという気持ちがあるなと思った。
- 議会の空気感がとても伝わってきた。たくさんの方々の伊江村を「大切にしたい」と言う気持ちが伝わってきた。
- 思ったより静かで少し緊張した。
- 難しい話だったけど、真剣に話し合っていた。
- 質問されて答えるとき、詳しく説明していたのですごいなと思った。
- 議員の質問に村長さんは、しっかり答えていた。
- 議会の内容はむずかしかったけど、村長と議員の話し合いを聞いていて「村に対して一生懸命に考えてるんだな」と思った。
- とても難しい言葉などを使っていたり、議会の空気が教室よりもすごくちがっていて、とてもすごかった。
- 議会中はとても静かでとても緊張した。難しい内容だったけど、いつもは見れない議会を傍聴出来てよかった。
- 議員さんの一般質問での質問時間は 30 分だと初めて知った。
- この議会をしているおかげで島が成り立っているんだなと思った。
- いっぱい質問をしていて、もうぼくだったら頭がごちゃごちゃになります。
- 議員一人一人がはっきり意見を持っていて緊迫感があってとてもすごかった。
- 村民の事を第一に考えていてとても嬉しかった。
- テレビで見たものとまったく同じで感激した。

自分が議員ならどんな質問をしたいですか？



- 伊江島から本島へ車で行けるような移動手段は。
- モノレールを伊江島まで延長するという考えは。
- もっと公園を増やしたい。
- 老人や体が不自由な人の住みやすい家をつくってほしい。
- 伊江島に観光客が増えているから民宿を増やしませんか。
- 本島に行くお金もかかるので、伊江島に大きなショッピングセンターを整備できませんか？
- 高校をつくってほしい。本島からの受験生も募集したらいい。
- 今は本島の高校にいくために一人暮らしをしないといけないし親も島から行ったり来たりで大変だから。
- 診療所において、専門医（科）を配置する考えは。出産の時などに本島に出ないといけないから。

研修報告

クルーズ船受け入れ対応に向けて

1/9

3町村（本部町・今帰仁村・伊江村）クルーズ船受け入れ対応に向けた意見交換会

全議員

昨年9月、三町村による所管事務調査（台湾）の報告及び情報共有を図るため、全議員が参加し、本部町産業支援センターで意見交換会を行った。今後は、今帰仁村、伊江村においてクルーズ船受け入れに向けた会議を開催していく。

意見交換会の様子

今後の広報紙づくりに活かす

1/30

町村議会広報研修会（那覇市・自治会館）

広報委員

「持続可能な議会広報紙を目指して」と題し、越地真一郎氏による研修会が開催された。議員個々が伝えたい思いではなく、読み手側の立場で編集することが大切だと改めて実感する研修であった。広報紙クリニックでは、参加した町村それぞれの広報紙を越地氏が診断し、良い部分や改善箇所など指導・助言をいただいた。今後の広報紙作りに役立てていきたい。

広報紙クリニックで質問に答える島袋委員長

若者による街づくり先進地事例

2/19

沖縄県離島振興市町村議会議長会研修会（那覇市・自治会館）

全議員

NPO法人エルコミュニティ代表の竹部美樹氏は東京でIT企業に勤めていたが『若者の成長なくして未来の発展なし』との強い思いから地元福井県の鯖江市に帰郷。大学生や地元の高校生たちと若者による街づくりを手掛け、鯖江市の発展に尽力している。先進的取り組みを高く評価し、賛同した大手企業を含む数多くの企業が同法人を支援している。詳しくは、福井県鯖江市HPや同NPO法人HPをご覧ください。

竹部氏による講話

SDGsが変える社会と経済

2/20

町村議会議員・事務局職員研修会（南風原町中央公民館）

全議員

SDGsとは、地域において持続可能な開発目標を掲げ経済、社会、環境の諸課題を統合的に解決すること。地域の価値向上、働きがい・生きがいにつなげることで、SDGs達成に貢献するという内容で富士通総研の主席研究員生田孝史氏による講演があった。

講演いただいた生田氏

議会の活動

2019年12月

1日　西小学校学習発表会（校区議員）
2日　町村議会議長会定例役員会（議長／那覇市）
3日　北部議長会理事会・総会（議長／国頭村）
4日　社会福祉協議会評議員会（議長・副議長）
5日　議会運営委員会・全員協議会
〃　葉たばこ振興会総会（議長）
8日　イージマチューパンジャまつり2019（全議）
9日　製糖工場火入れ式（議長）
11日～13日　第８回伊江村議会定例会
14日～15日　全国育樹祭（議長／宜野湾市）
14日　文科省教育課程研究指定校研究発表会（全議）
〃　ハイビスカスカップ小中学生ゴルフ大会前夜祭（副議長）
15日　ハイビスカスカップ小中学生ゴルフ大会（議長）
17日　村観光振興推進協議会（議長・経公委員長）
18日　役場共済会植樹（全議）
19日　県防衛協会北部支部忘年会（議長／名護市）
20日　村福祉団体交流望年会（議長）
23日　村文化協会設立総会（議長）
23日～24日　交通安全街頭啓発運動（全議）

全議員で植樹（12月18日東江上並里線）

2020年１月

４日　成人式（全議）
６日　新年交歓会（全議）
９日～10日　三町村クルーズ船情報交換会（全議／本部町）
10日　北部基幹病院整備に関する説明会（議長／名護市）
11日　第18回少年野球伊江島交流大会（議長）
12日　藤の会師範・教師免許披露公演（議長）
14日　国・県出先機関の長及び関係団体等と
北部市町村との新年会（議長・副議長／名護市）
15日　初セリ（全議）
18日　伊江島観光協会新年会（議長）
19日　消防出初式（全議）
25日　阿部慎之助杯国頭地区中学生野球大会（議長）
26日　村学力向上推進実践報告会・子ども発表会（全議）
27日　第1回伊江村議会臨時会
28日　磐田市「緑十字機不時着を語り継ぐ会」
DVD上映会及び交流会（議長・議員）
29日　パラシュート降下訓練中の物資落下事故現場確認
議会運営委員会（議会運営委員・議長）
30日　町村議会広報研修会（広報委員／那覇市）
31日　本部港立体駐車場落成式（議長）
県立博物館・美術館移動展オープニングセレモニー（議員）

本部港立体駐車場が完成し供用開始（令和２年１月31日）

2020年２月

２日　伊江小学習発表会（校区議員）
３日　第２回伊江村議会臨時会
沖縄防衛局・外務省沖縄事務所へ要請行動（全議）
４日　北部振興会第1回総会（議長／名護市）
５日　北部基幹病院に関する説明会（議長／名護市）
７日　県介護保険広域連合議会全員協議会（義範議員／読谷村）
８日　日本ハイビスカス協会総会（議長）
12日　議員村内研修会（全議）
名護市議会市民意見交換会視察（議長他／名護市）
13日　北部基幹病院整備に関する意見書の手交（議長／県庁）
17日　議会広報委員会（広報委員）
17日　村観光振興推進協議会（議長・経公委員長）
18日　県町村議会議長会定例理事会・総会（議長／那覇市）
19日　県離島振興市町村議会議長会定期総会（議長）
・議員研修会（全議／那覇市）
20日　町村議会議員・事務局職員研修会
（全議／南風原町）
21日　県介護保険広域連合議会定例会
（義範議員／読谷村）
21日　村合同祝賀会（全議）
22日　やんばるの森ビジターセンター落成式典・祝賀会（議長／大宜味村）
27日　北部広域組合第55回定例会（議長／名護市）

私たちの未来（みらい）

伊江中３年生に将来の伊江島について聞いてみました。

玉城（たましろ）　志将（むねゆき）（阿良）

街灯が少なく夜道は周りが見えなくて危ないので街灯を増やして夜道でも安全に歩けるようになったらいいなと思います。

将来の夢　工業系の職業に就きたいと考えています。

知念（ちねん）　俊幸（としゆき）（西崎）

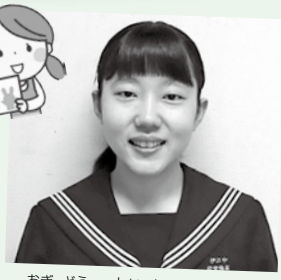
伊江島を他の県や海外の人たちが気軽に来ることができるようにしたいです。

将来の夢　父親のような農家になることです。

宮城（みやぎ）　尊樹（そんじゅ）（川平）

将来、他の地域の人との交流が活発になる島にしたいです。理由は、交流が多くなることで、みんなの笑顔が増えると思ったからです。

将来の夢　定まっていませんが、人の役に立てるような仕事につきたいと思っています。



荻堂（おぎどう）　椎菜（しいな）（西崎）

伊江島の観光業を盛んにするために、観光場所を増やしたり、また、たくさんの観光客が泊まれる宿泊場所を増やしたらいいと思います。

将来の夢　保育士になることです。そのためにしっかりと勉強し、夢を実現できるように頑張りたいです。

儀保（ぎぼ）　賀丸（よしまる）（西江上）

伊江島を将来子どもが多く、活気ある島にしたいです。そのために保育所を増やして待機児童がいないようにしたいです。

将来の夢　整体師に興味があるので、高校に入っても体力づくりと勉強を日々頑張りたいです。

屋嘉比（やかび）　美波（みなみ）（東江前）

「島をもっと豊かに！」
伊江島は、豊かな自然や気候風土を生かした産業が盛んですが、将来もっと豊かな島にするために、島ならではの特徴を生かした観光業（例えば観光客向けの民俗芸能の公演会）などを企画し、村の特色を打ち出し、「伊江島でしか味わえない物・事」で島をどんどんPRして、たくさんの観光客が島を訪れるようになってほしいです。

将来の夢　私は今までたくさんの人に助けてもらっているので、将来はいろいろな人を助ける仕事をしていきたいです。

題字提供はこの方 いえそん

大城 銀三（ギンゾウ）さん

昭和３年生 満91歳
川平区（屋号：フパチク）

デイサービスを利用されています。

寡黙で温厚な方です。多趣味・多芸な方で挨拶もお上手です。クリスマスにはサンタクロース役をつとめ、サンシンを持たせれば巧みにつま弾き、ゲートボールの腕前はふさと苑一です。

編集後記

この議会広報紙が村民の皆様に届くころは、令和２年度の村予算や事業計画など重要な３月定例会が近日になる頃だと思います。

議会広報紙では、村民の皆様に議会活動をわかりやすく伝わる紙面を心掛けていますが、「百聞は一見に如かず」議会を傍聴してみませんか。

村民の皆様の傍聴を心より期待します。

令和２年度は、より一層、見やすくわかりやすい紙面にしますので、これからもご意見、ご指導をお願いします。

議会広報特別委員会委員長　島袋　勉

３月定例会予定　**３月10日（火）午前10時～**
傍聴を希望される方は、お気軽にお問い合せ下さい。

議会や議会広報に関してご意見やご要望をお寄せ下さい。

(0980)49-2924 伊江村議会事務局

発　行／伊江村議会　〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前　TEL:0980-49-2924
編集・印刷／株式会社ちとせ印刷　TEL:098-879-5814